

CONFIDENTIAL

Copyright © 2007 by Zenkukai.

No part of this publication may be reproduced, stored in retrieval system, or transmitted in any means electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise without the permission of Zenkukai.

This document provides an outline of a presentation and is incomplete without the accompanying oral commentary and discussion.

ビジネスクリエーター研究学会

医療・介護・社会福祉領域に関するビジネスクリエーター研究

社会福祉法人 善光会

徳山 創

発表者自己紹介

CONFIDENTIAL

複合福祉施設を運営する社会福祉法人善光会に所属し、情報システム関連の業務を行っております。

社会福祉法人 善光会

東京都大田区にて日本最大級の複合福祉施設(特別養護老人ホーム・障害者支援施設・介護老人保健施設)を運営しております。「オペレーションの模範となる」「業界の行く末を担う先導者になる」を理念に、様々な革新的取り組みを実施しております。



iPhoneアプリ「介護マニュアル」の企画・開発



アプリ「介護マニュアル」、「介護マニュアル(災害編)」をApple社 App Storeにて無償公開しております。

システム・インフラメンテナンスなど

- パソコン整備
- サーバメンテナンス
- システム導入・運用サポート
- ヘルプデスク
- サービス企画・開発・運用など

医療・介護・社会福祉領域に関する
ビジネスクリエーター研究について

これまでの研究活動

今後の活動の方向

医療・介護・社会福祉領域に関する
ビジネスクリエーター研究について

これまでの研究活動

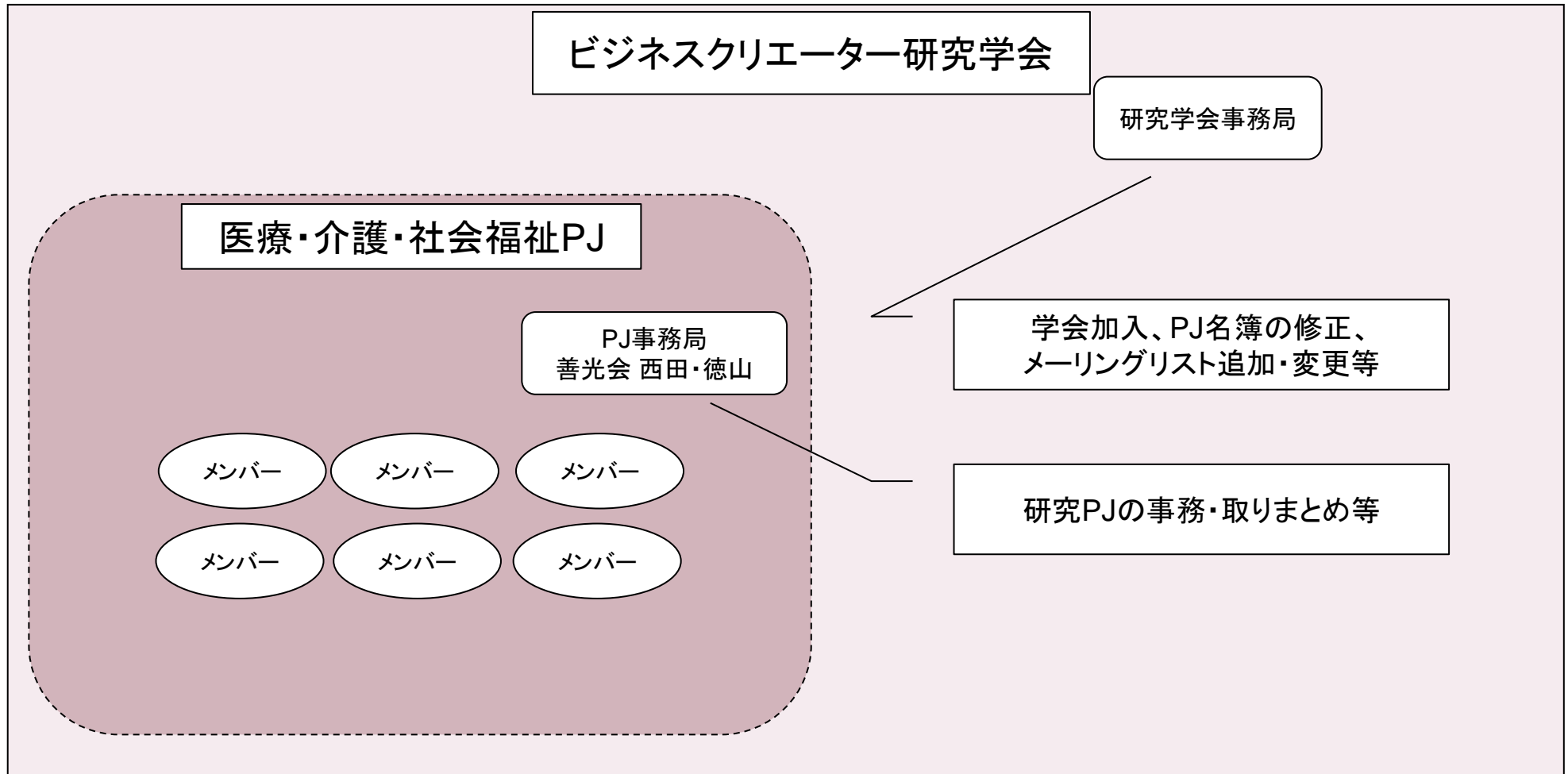
今後の活動の方向

医療・介護・社会福祉領域に関するビジネスクリエーター研究について

CONFIDENTIAL

ビジネスクリエーター研究学会の1プロジェクトとして昨年発足致しました。参加されている方は、医療、介護系のお仕事をされている方、医療、介護に興味のある方等、多岐に渡っています。善光会はプロジェクトの事務局を行っております。

研究体制



※希望される方はどなたでもプロジェクトに参加する事ができます

医療・介護・社会福祉領域に関する
ビジネスクリエーター研究について

これまでの研究活動

今後の活動の方向

これまでの研究活動について

CONFIDENTIAL

「医療・介護・社会福祉領域」であれば内容は自由という前提の元、多種多様のバックグラウンド、知見を持つメンバーが各々の研究内容、興味がある内容について発表、紹介を行う形式で実施してまいりました。

プロジェクト研究会題目

研究会	発表・議論内容1	発表・議論内容2
第1回	イントロダクション	-
第2回	医療制度と医療を取り巻く環境	善光会の紹介
第3回	最近の産婦人科医療をめぐる話題	東アジア共同体構想について
第4回	医療資源の配分についての一考察	中国の医療介護事情
第5回	介護分野におけるキャリア形成について (中国市場において成果をあげる人材の育成方法)	本研究会の方向性の提案(仮題) (政府、関連学会に対して検証・提案する存在)
第6回	介護事業における介護労働者の確保とモチベーションに関する考察	リラクゼーションについて
第7回	テーマについて	医療・介護連携について

これまでの発表①～医療制度と医療を取り巻く環境～

CONFIDENTIAL

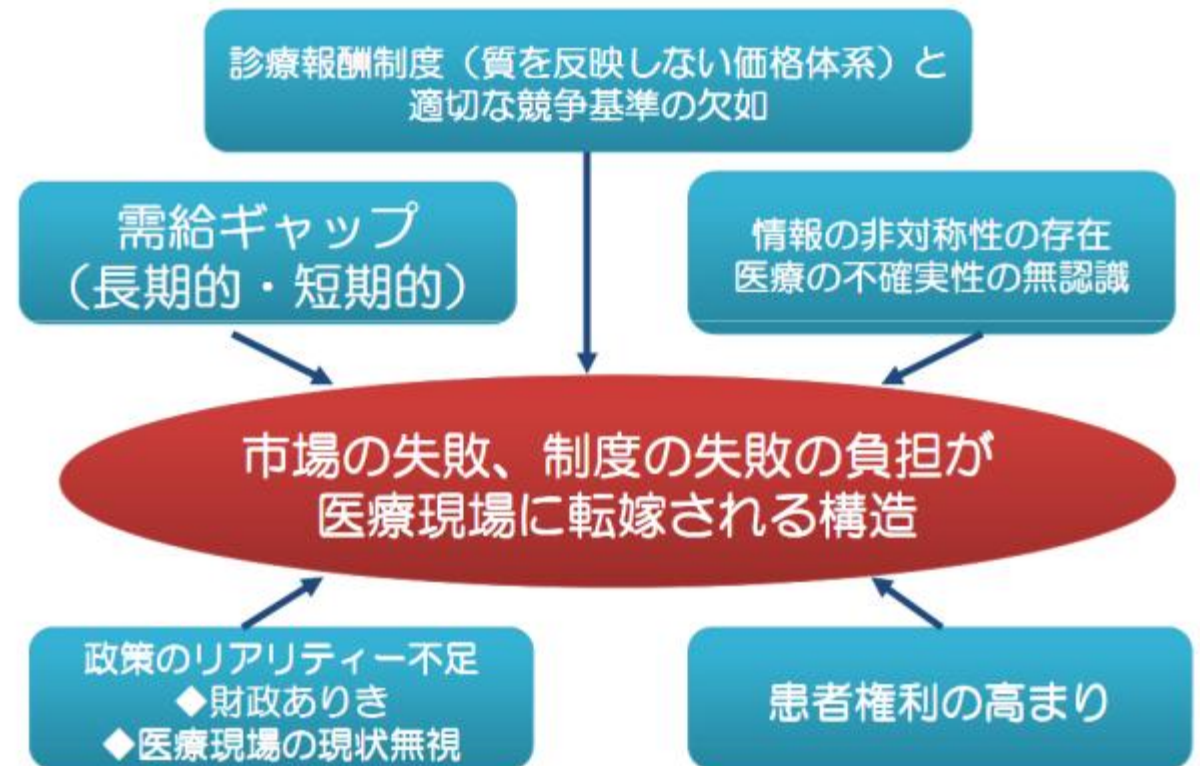
「市場の失敗、制度の失敗の負担が医療現場に転嫁される構造」である問題点を導き出し、「診療成績に基づく適切な競争の必要性」について議論が行われました。

医療制度と医療を取り巻く環境

議論の骨子

- 日本の医療制度の概要
- 医療現場を取り巻く環境
- 医療制度の問題点
- 医療経済・医療経営研究の現在

医療制度と医療を取り巻く環境の問題点



CONFIDENTIAL

ステークホルダーに左右されない第三者的な立場から検討し、その結果を適宜、情報発信していくことが重要であると議論を行いました。

ビジネスクリエーター研究への提言 最近の産婦人科医療をめぐる話題に絡めて

産婦人科医療の現況をもとに、日本産婦人医会から、「将来的な産科医療施設のあり方」について政策提言がなされた。

「将来の産科医療が、旧来型の個人の開業医中心の医療が益々必要とされるというものであった。」ビジネスの分野で、選択と集中が叫ばれる中、その提言の実現性については直ぐに疑念を抱くような内容であった。

これは、特に人的資源管理を含めた経営学的な検証が欠落して書かれていることや、用いられている数字が、医学会や医療施設によるバイアスが大きいことが関連している。もともと医療サービスは個人の意思とは無関係に突然必要になるサービスである。

そのサプライヤーである医療者、医療機関の立場、カスタマーである患者や家族の立場、それぞれの視点で整合性や継続性のあるサービスが提供されるべきである。

このため、学会や政府から出された提言の合理性や実現可能性についてステークホルダーに左右されない第三者的な立場から検討し、その結果を適宜、情報発信していくことが重要であり、その任務をビジネスクリエーター学会が担えば良いのではないかと思われる。

これまでの発表③～医療資源の配分について～

CONFIDENTIAL

医療資源の配分という切り口で、医療提供者の偏在、地域間格差を分析し、「選択と集中」「サプライチェーン」について議論が行われました。

医療資源の配分について

議論の骨子

- 医療資源とは
- 資源の配分メカニズム
- 医療資源の配分における問題点
- 医療資源の利用における問題点
- 医療資源の配分と利用問題に対する一考察

配分と利用問題に対する考察

- 「選択と集中」と「サプライチェーン」
- 疫学・レセプトなどに基づいた需要予測
- 資源の「ジャスト・イン・タイム方式」
- コスト管理に基づく価格（診療報酬体系）
- 医療施設における「経営管理」の確立

CONFIDENTIAL

中国における人口動態、各種制度、現状の介護施設の分析を元に「在宅介護とデイサービス的发展余地」「社会全体の健康増進と生活の質の向上」について議論が行われました。

中国における介護業界の現状と課題～在宅介護を中心に～

背景

- ・人口動態統計と一人政策
- ・高齢者有病率
- ・医療保険制度とその改革
- ・養老保険制度の限界
- ・介護施設の不足
- ・遅れている在宅介護サービス

議論

- ・在宅介護とデイサービスの發展余地
- ・社会全体の健康増進と生活の質の向上

これまでの発表⑤～介護分野におけるキャリア形成について
(中国市場において成果をあげる人材の育成方法)～

CONFIDENTIAL

介護分野における中国進出の可能性について、人材育成、施設運営の点から考察され、人材育成について知識や技術も重要であるが、自らが提供しているサービスの判断基準や評価基準を持つような組織づくりがより必要であると議論が行われました。

議論の内容

◆中国の高齢化、高齢化対策

◆上海について

◆介護分野における中国進出の可能性

◆アンケート調査、考察

◆考察

◆結論

■アンケート調査、考察

・キャリア支援の施策

資格取得、研修、スキル教育、コンピテンシーの向上など

・有用性の測定

組織コミットメント、介護職へのコミットメント、自己評価など

■議論

× 介護技術や知識など介護の専門性を高める施策

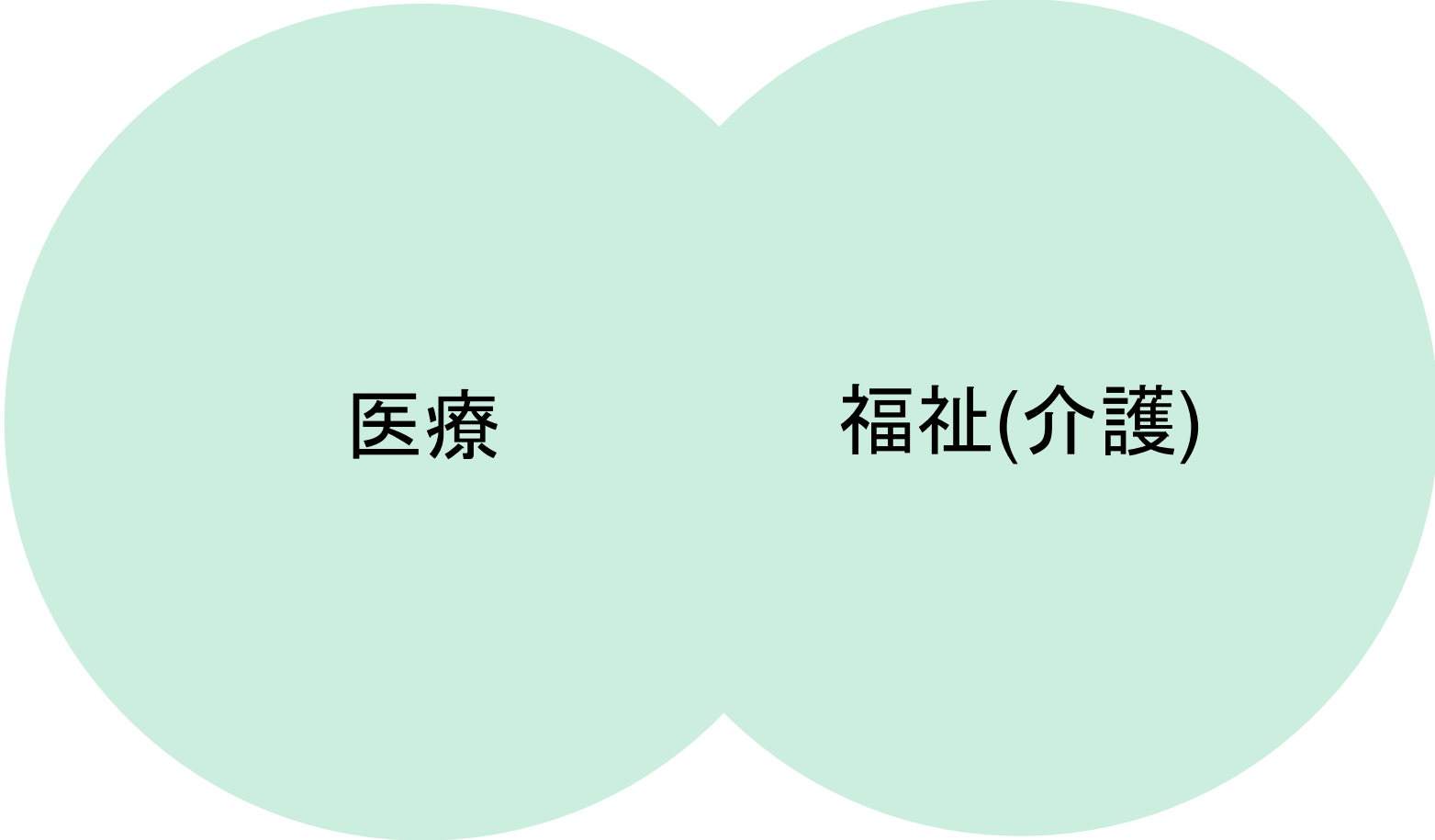
○ 介護サービスの概念的な部分、サービスへの考え方
や姿勢、組織の方針などを伝えること

これまでの研究活動サマリー

CONFIDENTIAL

医療、介護という似て異なる分野の議論を個別に実施し、一定の成果を得ました。
今後は、共通のテーマを設けて知見を深めてまいります。

医療・介護・社会福祉プロジェクト



医療

福祉(介護)

医療・介護・社会福祉領域に関する
ビジネスクリエーター研究について

これまでの研究活動

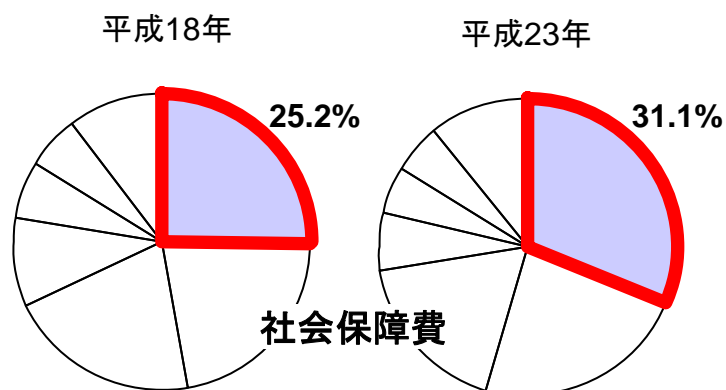
今後の活動の方向

今後の研究の方向性

CONFIDENTIAL

医療、福祉(介護)の領域を共通して検討する切り口として、「財政」という視点を設定し、医療・介護・福祉領域の検討を深く行っていくこととしました。

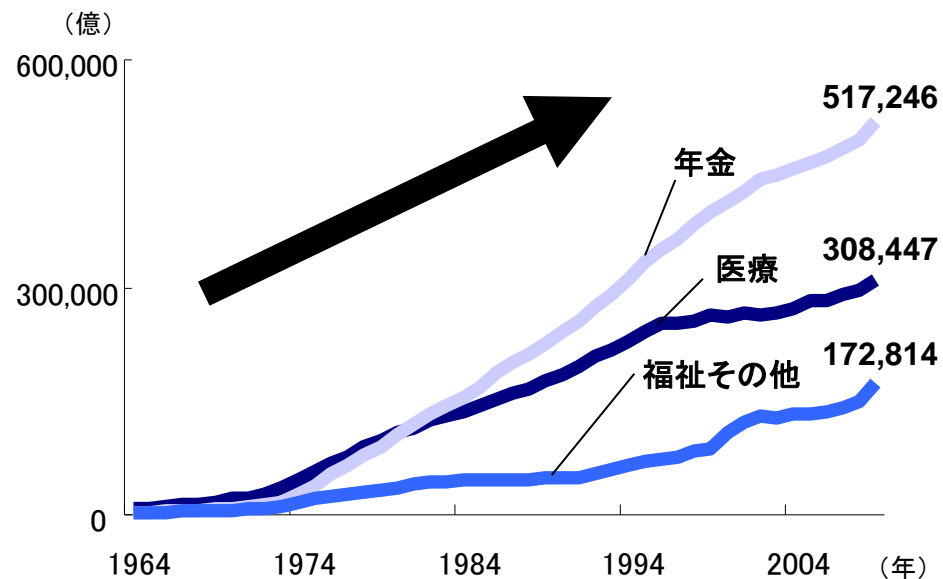
一般会計予算(歳出)に占める社会保障費



(出典)財務省:一般会計予算より

現在、国家予算の歳出に占める社会保障費は1/4を超え、年間1兆円程度ずつ増加し続けている。

社会保障給付費の部門別推移



(出典)国立社会保障・人口問題研究所

社会保障給付費は年金・医療・福祉その他に分類されるが、そのどれもが増加の一途を辿っている。

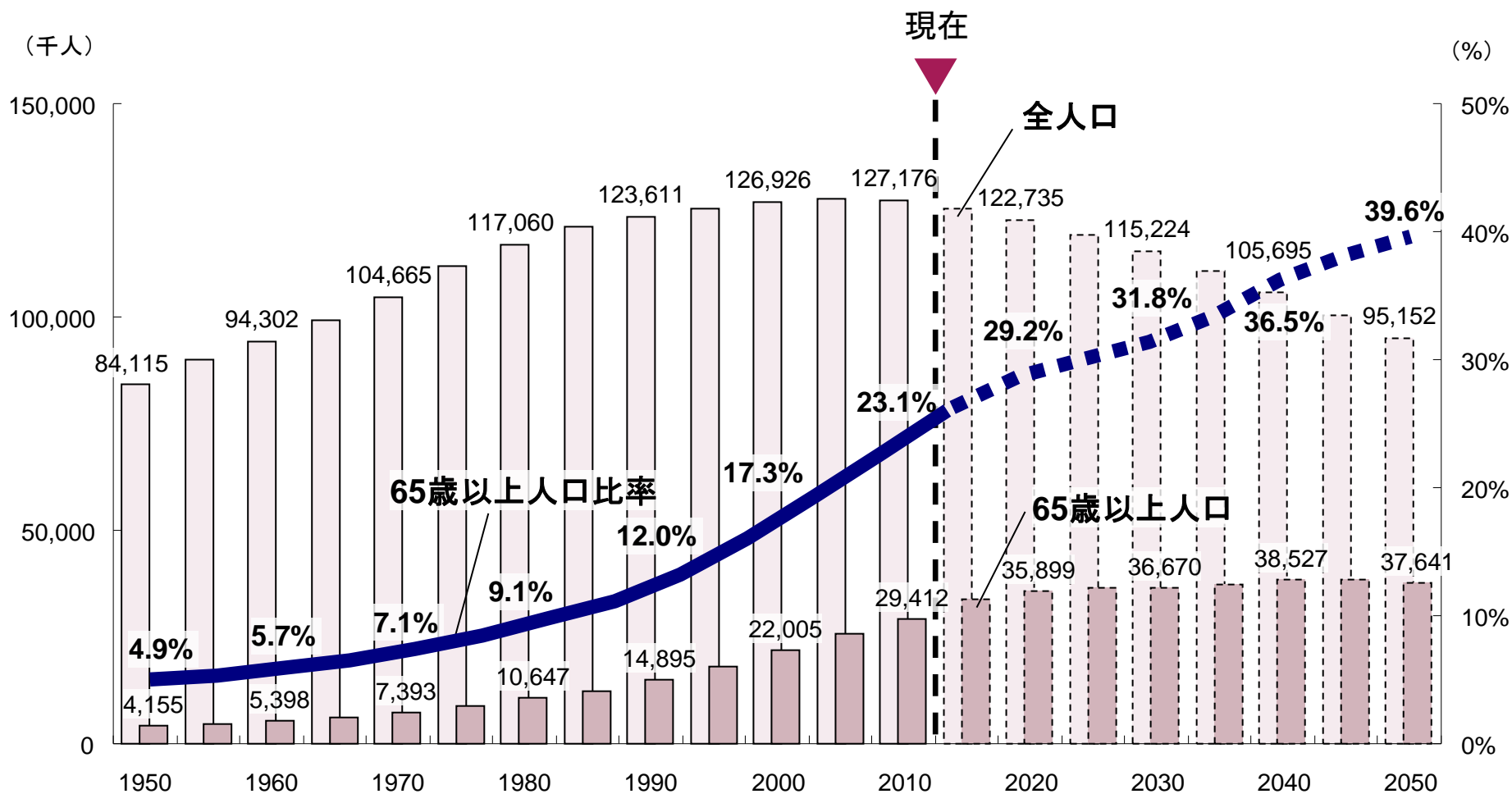
超高齢社会の日本において社会保障費の問題は、国家財政を圧迫する重大な問題となっており、特に「医療」、「福祉その他」の分野では給付費の増加額は高い伸長率を示している。中でも介護対策費については最も高い伸長率となっている。

マクロ環境①(人口動態)

CONFIDENTIAL

日本は、世界に先駆けて高齢社会へと進んでおります。今後も、65歳以上の人口比率は上昇していくと言われております。

日本の全人口、65歳以上人口および比率の推移



出所:総務庁統計局「国税調査」、人口問題研究所「日本の将来推計人口」(中位推計)

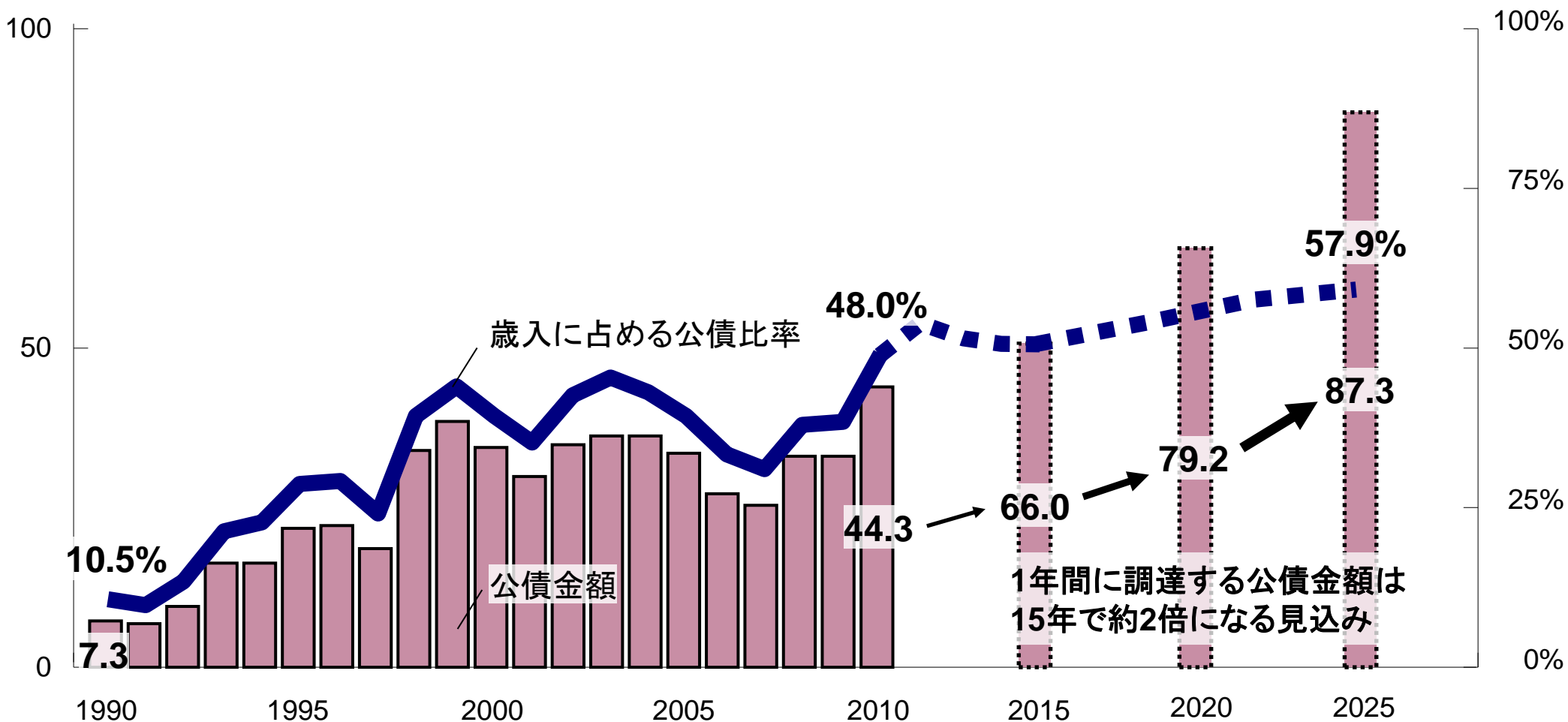
マクロ環境②(国家財政)

CONFIDENTIAL

日本を取り巻く環境として、国家財政が逼迫していると言われております。公債の比率は上昇を続け、国家予算も大変厳しい状況であることが伺えます。

(兆円)

公債金額と歳入に占める公債比率



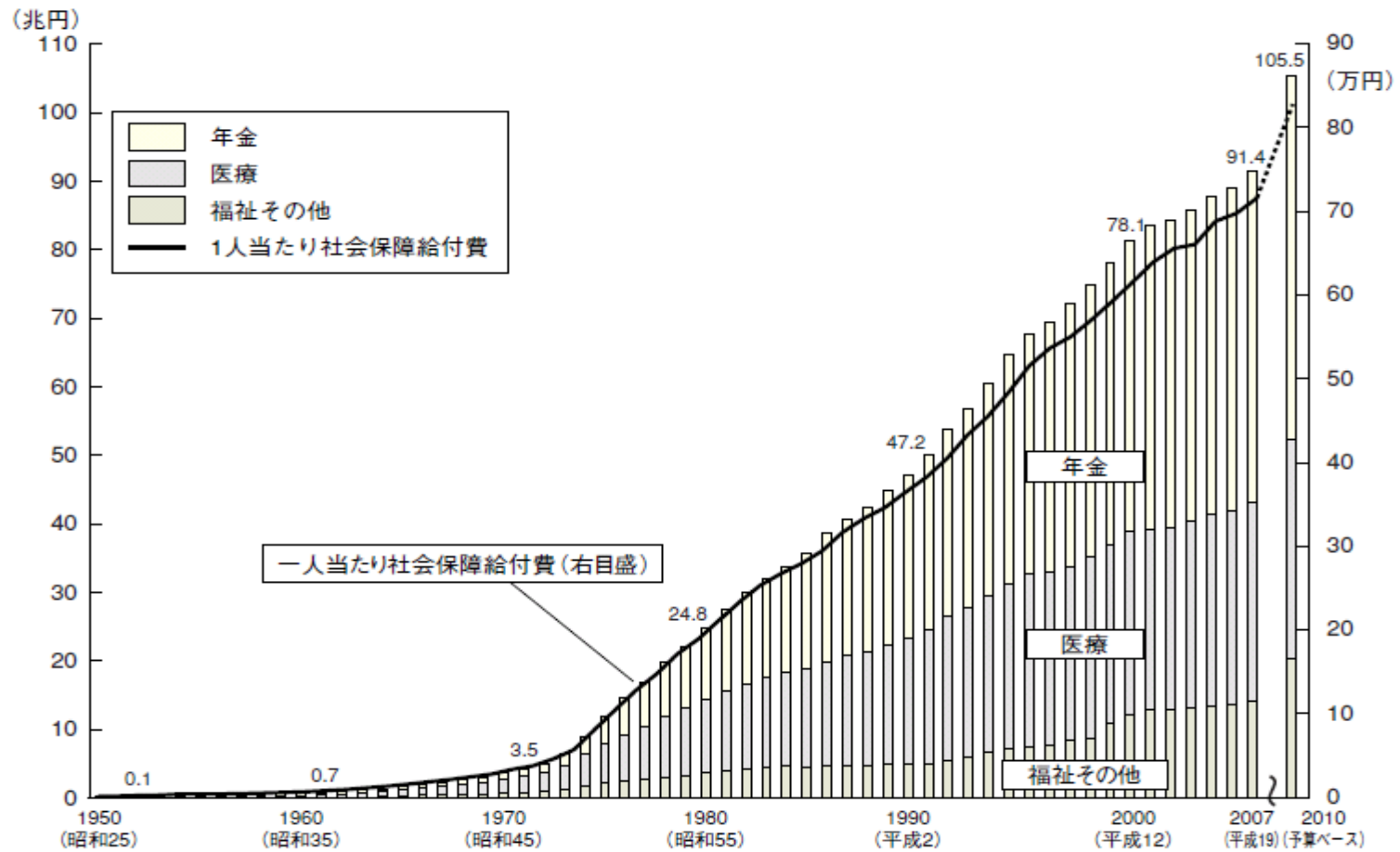
1年間に調達する公債金額は
15年で約2倍になる見込み

マクロ環境③(社会保障給付費)

CONFIDENTIAL

社会保障給付費の推移は年々上昇し、国民一人当たりにかかる負担も増加し続けています。

社会保障給付費の推移

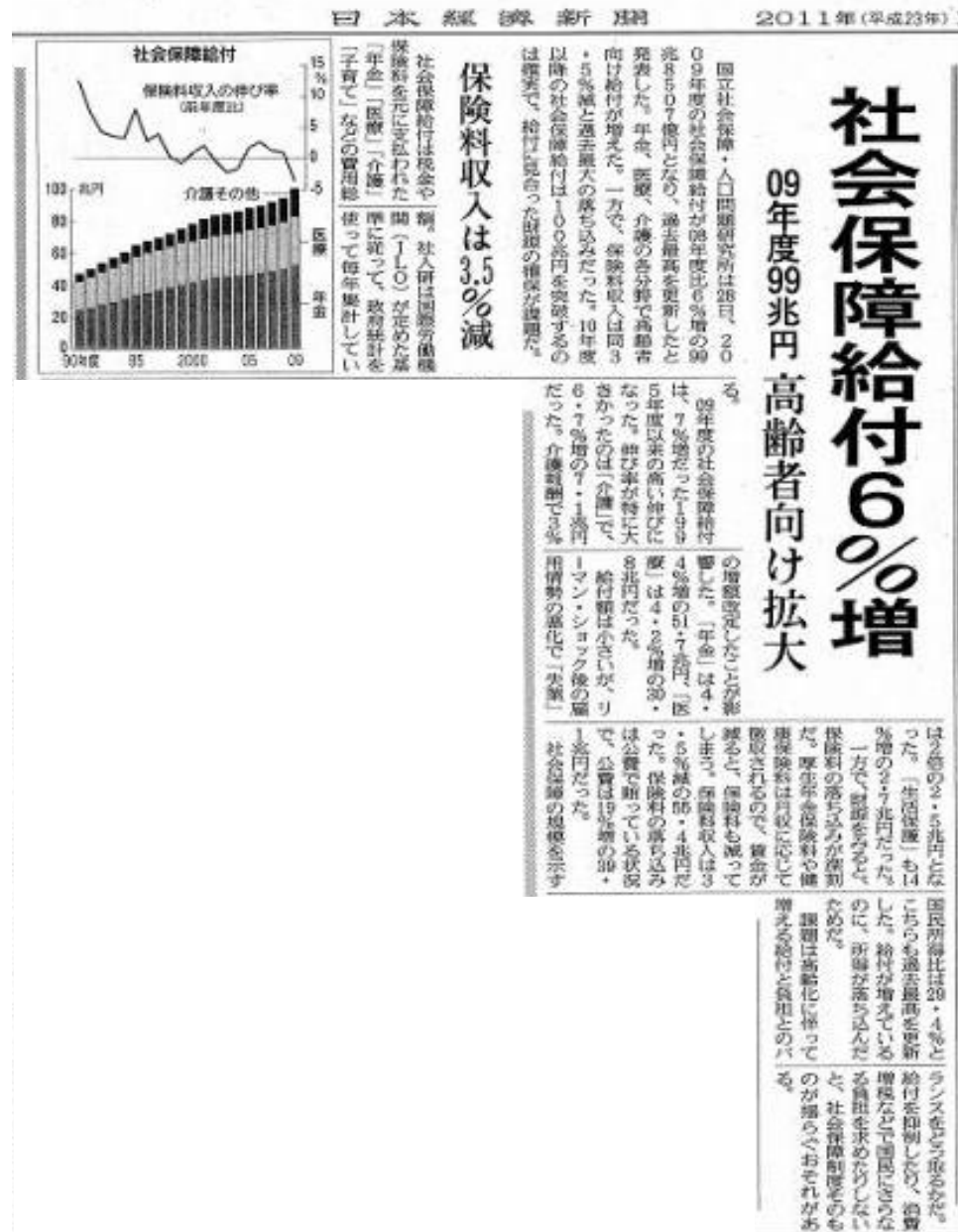


(出典) 国立社会保障・人口問題研究所

社会保障費関連のニュース①

CONFIDENTIAL

社会保障費給付費は100兆円規模になり、財源の確保が課題とされております。



社会保障費関連のニュース②

CONFIDENTIAL

介護利用料の自己負担の割合を2割に増額する検討がされております。

施設利用料の引き上げなどが焦点になる見込み。年収320万円以上と現役並み所得の高齢者の利用料を現在の1割から2割に上げる案なども検討する。低収入の施設入居者に食費などを納付する「補足給付」は、一定以上の資産があれば認めない方向で議論する。利用料を上げれば、国費負担は最大で数百億円減る。厚労省は浮いた国費を低所得者の保険料を極くする財源に充てる方

針だ。介護サービスの利用、残りの9割を税金と、4割は65歳以上、6割は40〜64歳が負担している。介護保険料で半分ずつまかなう。介護保険料のう

日本経済新聞

介護利用料上げ検討

厚労省 現役並み所得、負担2割

厚生労働省は介護保険料に引き上げる案を中心として議論を進める。介護サービス費の総額は10年前の2倍で、65歳以上が支払う保険料も当初の2倍。厚労省は31日に開く社会保障審議会の介護保険部会に、給付の抑制のため、年収320万円以上の現役並み所得者の負担割合を現在の1割から2割に引き上げる案をとりま

主な利用料・給付見直し案	
経費者の施設入居の抑制	給付の確保につながる特別養老老人ホームなどの利用は重症者中心に
現役並み所得者の利用料上げ	年収320万円以上の高所得高齢者の利用料を全体の1割から2割に
介護財源(ケアプラン)作成の無料化	無料をとりやめ、利用者が一定額を負担
低所得者向け追加給付の支給要件を厳格化	資産が多い高齢者には、収入が少なくても追加給付を認めない

万円までしかサービスを利用できないが、特別養老老人ホームなどの施設に入居すると、利用料が1割に引き上げられる。経費者の

社会保障費関連のニュース③

CONFIDENTIAL

介護保険料を「総報酬割り」にした場合の試算がなされております。

asahi.com

○トップ ニュース ○スポーツ ○エンタメ ○ライフ ○ショッピング ○Astand ○トピックス

社会 ビジネス 政治 国際 文化 サイエンス 社説 コラム 天気 交通 動画 マイタウン English

現在位置: asahicom > ニュース > ビジネス・経済 > 金融・財政 > 記事 2011年11月1日19時25分

トップ ニュース コラム 株式・投信 為替 市況・経済データ 宝くじ CSR

14 ブログに利用 BT 1 +1 0 おすすめ 2 印刷

介護保険料、最大月900円増 「総報酬割り」で試算

厚生労働省は31日、40～64歳の介護保険料を決める方式を、加入者の収入に応じた「総報酬割り」に変えた場合、大企業の社員で2012～14年度に最大月900円増になるとの試算を、社会保障審議会介護保険部会に提示した。また、利用者負担を今の1割から2割に増やす案も、検討課題として示した。

介護保険料は3年ごとに見直される。現在、大企業の健康保険組合や中小企業が中心の協会けんぽの負担額は、給与水準に関係なく加入者数に応じた頭割りで算定され、比較的給与が低い中小企業の社員の負担感が重くなっている。

厚労省の試算では、現在月4516円の保険料(労使合わせた額)は今の仕組みのままでも、高齢化の影響で来年度から4900円になる。これに総報酬割りをすべて適用すると、健保組合では5800円に負担が増える一方、協会けんぽは900円減の4千円になる。また、総報酬割りを3分の1だけ導入した場合、保険料の変化は大企業で300円増、中小企業で300円減にとどまる。

関連記事

- ・65歳以上「自分は健康」6割 愛媛、03年から改善 (9/17)
- ・介護利用料の負担増、先送り 民主反対受け厚労省方針 (12/18)
- ・大津市、介護保険料少なく徴収 計96万円を追加徴収へ (11/18)

社会保障費関連のニュース④

CONFIDENTIAL

社会保障・税一体改革の検討がなされてきております。

NEWS

政府が社会保障・税一体改革のスケジュール公表

医療・介護の基盤整備、保険制度改革は年内に改革案を取りまとめ

政府は8月12日、社会保障・税の一体改革の当面の作業スケジュールを公表した。医療・介護の基盤整備や保険制度改革、税制改正などのスケジュールを示している(図3)。同日、厚労相や財務相ら関係5閣僚が確認した。

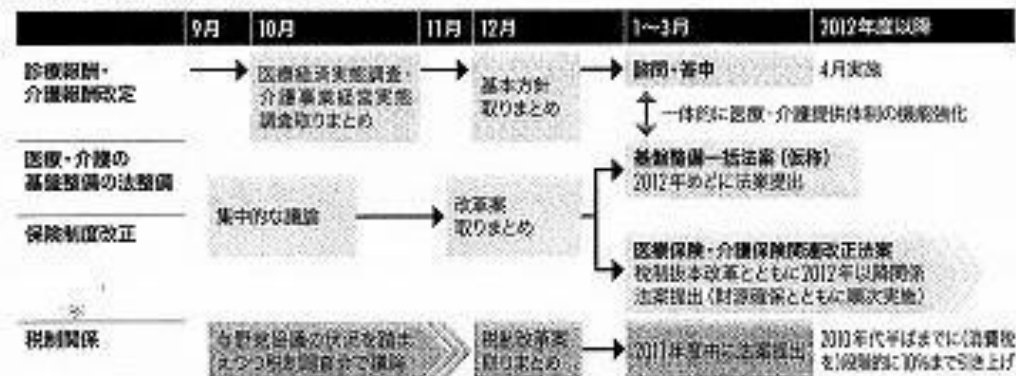
診療報酬・介護報酬については、10月中旬に医療経済実態調査と介護事業経営実態調査の結果を取りまとめた年内

に改定の基本方針を策定し、2012年4月に同時改定を行う。「医療・介護の基盤整備の法整備」と健康保険、介護保険などの保険制度の改正については、いずれも年内に改革案を策定。その後、医療・介護の基盤整備では2012年をめどに「基盤整備一括法案(仮称)」とし

て、保険制度は「医療保険・介護保険関連改正法案」として2012年以降、国会に法案を提出するとしている。

なお税制改革については、今年秋から政府税制調査会の議論を始めて12月に改革案をまとめ、2011年度中に国会に法案を提出、2010年代半ばまでに段階的に消費税率を10%に引き上げるとしている。

図3 社会保障・税一体改革の当面のスケジュール



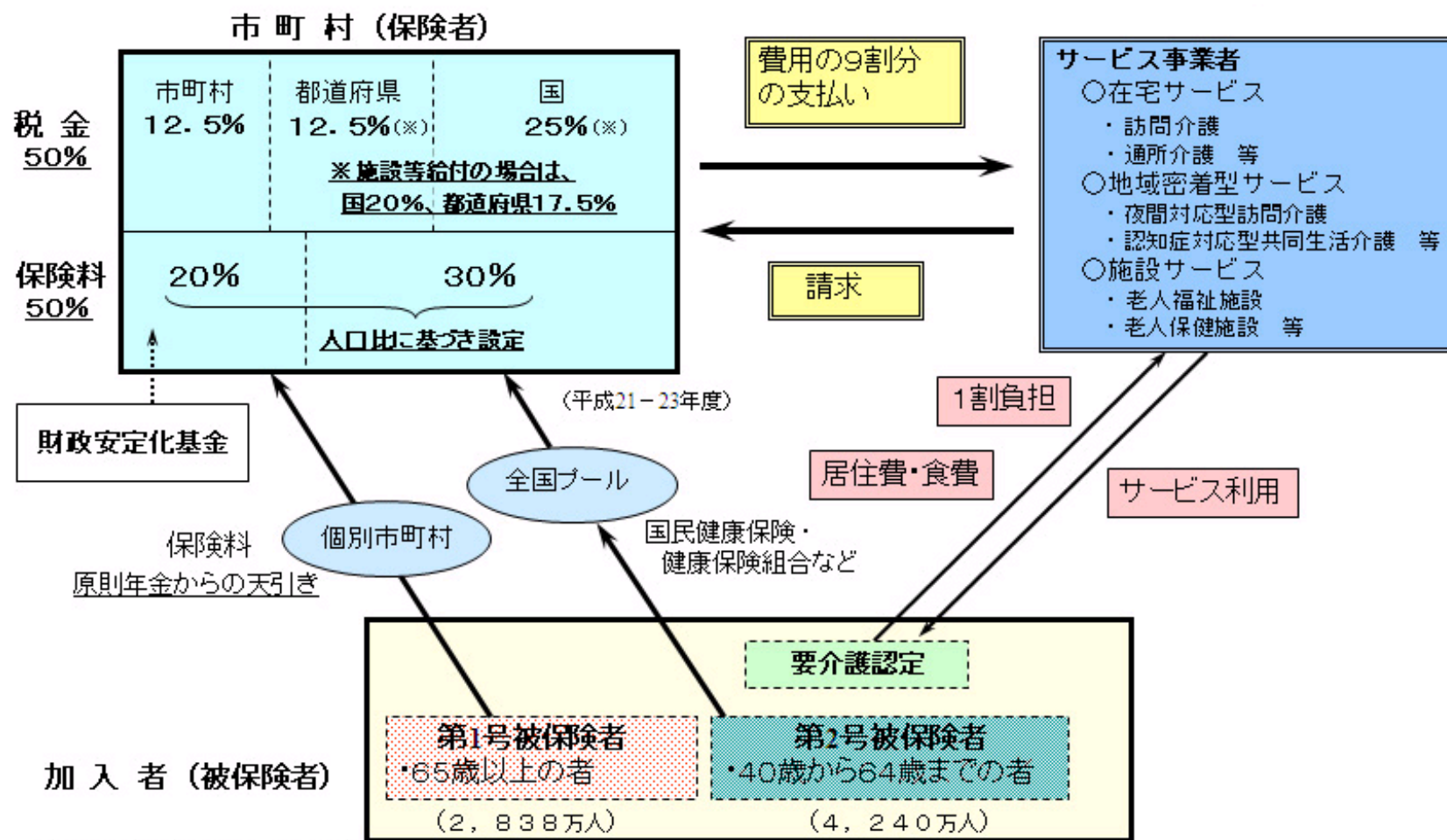
介護保険の自己負担1割、公金9割の状況が続くのだろうか？

介護保険制度

CONFIDENTIAL

介護保険制度とは、国民が介護保険料を支払い、その保険料を財源として要介護者たちに介護サービスを提供する制度となります。

介護保険制度の仕組み



(出典)厚生労働省:介護財政の仕組みより

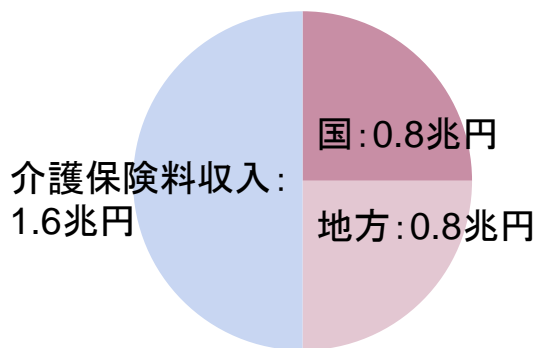
介護保険の推移と予測

CONFIDENTIAL

超高齢化社会の到来により介護保険給付費の急速な拡大が見込まれます。これにより、国、及び地方の負担分が増加し、財政状況のさらなる逼迫が予測されます。

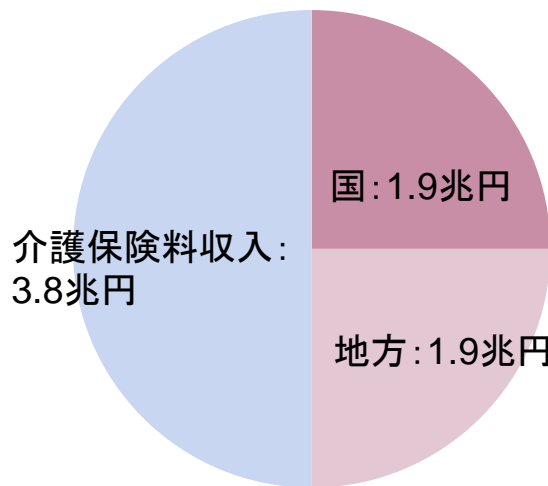
2000年度

(介護保険給付費:3.6兆円)



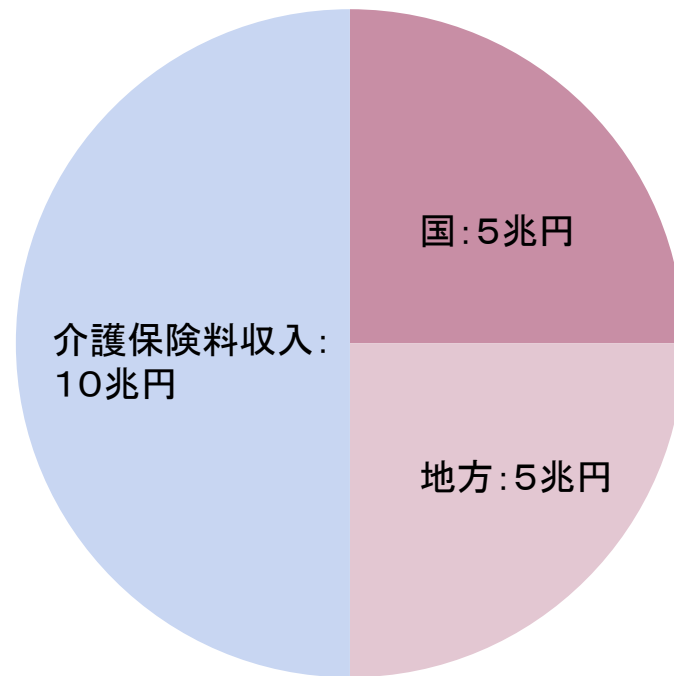
2009年度

(介護保険給付費:7.6兆円)



2025年度予測

(介護保険給付費:20兆円)



例：特別養護老人ホーム

CONFIDENTIAL

特別養護老人ホームへの入居待機者も多く、高齢化に伴い、社会保障費はますます増大すると予想される。

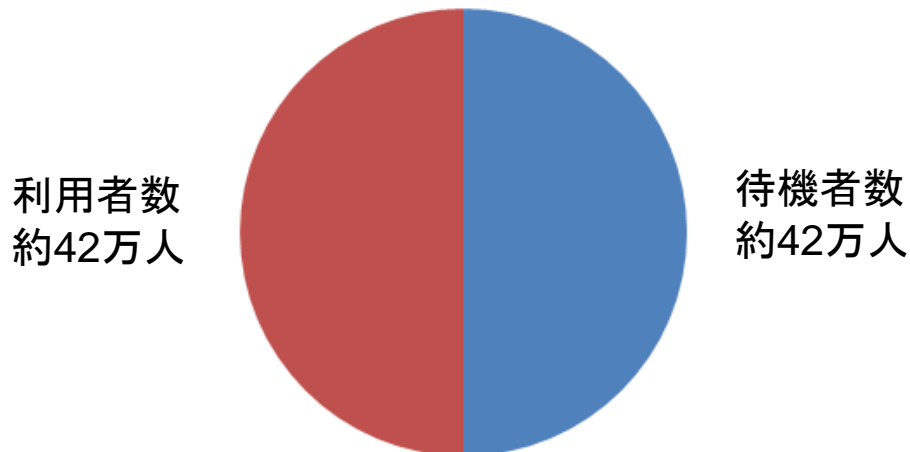
特別養護老人ホーム概要

身体上、または精神上、著しい障害があり、介護保険制度で介護の必要がある「要介護」の判定が出た人が利用可能な、老人福祉法上の老人福祉施設の中の一つ(社会福祉施設)。

入所に掛かる経費は介護保険による「介護福祉施設サービス費」の利用者負担分のほか、食費・居住費(ホテルコスト)などの自己負担がある。

Wikipediaより一部抜粋

特別養護老人ホーム利用者・待機者数概数



■特別養護老人ホーム費用例

(入所者1ヶ月、1人あたり、概算)

ケースA:

本人負担:6~7万円

公金:34万円

ケースB:

本人負担:16~17万円

公金:28万円

ケースC:

本人負担:10万円

公金:32万円

(※食事、部屋代などを含む)

■公金試算

1人1ヶ月30万として、1年で360万円。

単純計算42万人で1.5兆円。

(※実際には要介護度による変動や、短期の利用、デイサービス利用等もあるため、この通りではない)

考えられるシナリオ

CONFIDENTIAL

プロジェクト研究会では、参加メンバーの知見・検討を元に具体的にシナリオを検討してまいります。

シナリオのイメージ

- 自己負担額が上昇する
どこまでの上昇に耐えうるか？
- 公費負担額が減少する
公費負担額減少分をどうまかなうか？
- 事業者収入額が減少する
破たんして事業運営不可能法人が出現する？
- 入居制限が実施される
現状以上の施設利用が許されなくなることはあるのか？
- …

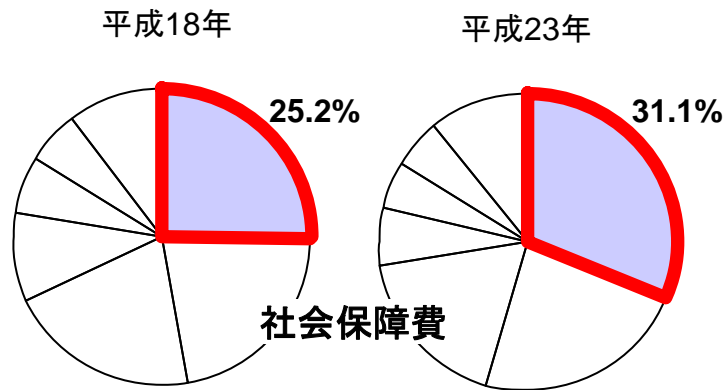
ビジネスクリエータ研究学会「医療・介護・社会福祉領域に関する
ビジネスクリエーター研究」プロジェクトにて議論を行ってまいります。

まとめ(今後の検討・議論の方向性)

CONFIDENTIAL

ビジネスクリエータ研究学会、「医療・介護・社会福祉領域プロジェクト」では、財政逼迫状況が進み、社会保障費が削減されるケースを想定し、医療・介護・社会福祉領域がどのように変化していくかを参加者の知見・考察を元に議論を行ってまいります。

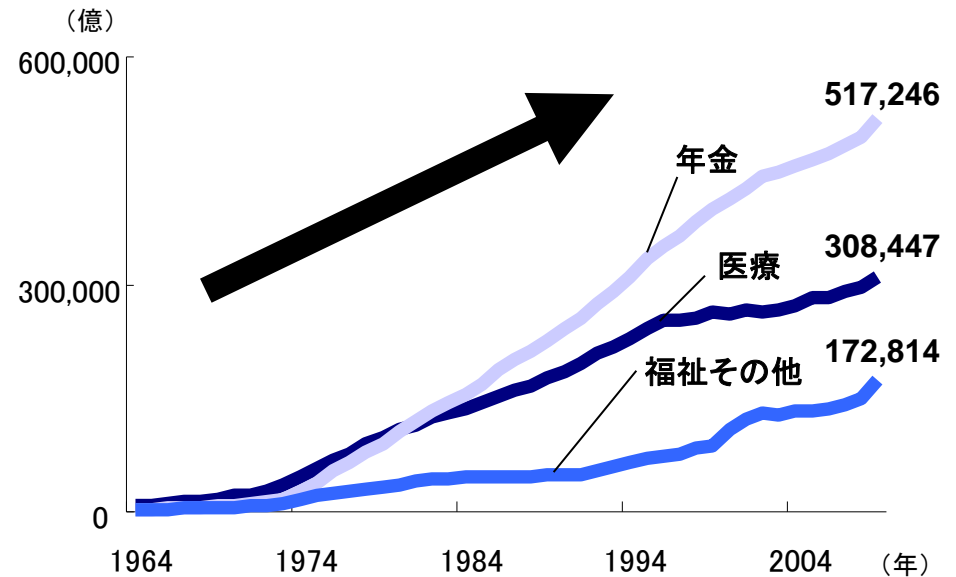
一般会計予算(歳出)に占める社会保障費



(出典)財務省:一般会計予算より

現在、国家予算の歳出に占める社会保障費は1/4を超え、年間1兆円程度ずつ増加し続けている。

社会保障給付費の部門別推移



(出典)国立社会保障・人口問題研究所

社会保障給付費は年金・医療・福祉その他に分類されるが、そのどれもが増加の一途を辿っている。

超高齢社会の日本において社会保障費の問題は、国家財政を圧迫する重大な問題となっており、特に「医療」、「福祉その他」の分野では給付費の増加額は高い伸長率を示している。中でも介護対策費については最も高い伸長率となっている。

ご清聴ありがとうございました

「医療・介護・社会福祉領域に関するビジネスクリエーター研究」
プロジェクトへの参加につきましては、下記までお問い合わせください。

ビジネスクリエーター研究学会

会長 亀川教授

ビジネスクリエーター研究学会

事務局 cbc@grp.rikkyo.ne.jp

医療・介護・社会福祉領域プロジェクト

事務局 西田 h.nishida@zenkoukai.jp

徳山 h.tokuyama@zenkoukai.jp